

## 2017 年度私立大学図書館協会東地区部会総会 議事要録

開催日：2017年6月9日（金）10：00～11：20

会場：立正大学 品川キャンパス 石橋湛山記念講堂

出席校：134校（出席者：227名） 委任状：130校 合計264校

欠席校：3校

開会の辞：司会者（開催校） 立正大学図書館品川学術情報課課長 島田 貴司

開会挨拶：部会長校 東海大学附属図書館長 伊藤 一郎

挨拶：会長校 名城大学附属図書館長 山本 忠弘

挨拶：開催校 立正大学図書館長 友永 昌治

議長選出：司会者（開催校） 立正大学図書館品川学術情報課課長 島田 貴司

開会宣言：議長 東京理科大学図書館長 本間 芳和

開会の辞、挨拶に続き議長の選出が行われ、議長が開会を宣言した。

議長より部会総会に先立ち、出席校が会則（私立大学図書館協会会則第29条）の定足数に達し部会総会が成立した旨の報告があり、議事進行に入った。

<部会総会成立状況>（6月9日 10：00時点）

加盟校数：269校

（部会総会成立に必要な校数は269校の過半数＝135校以上）

出席校：122校

委任状提出校：130校

合計：252校

引き続き、新規加盟申請のあった下記1校の紹介がなされた。

なお、新規加盟申請の1校については、8月30日にOIT梅田タワー（当番校：摂南大学）で開催される私立大学図書館協会総会にて承認された後、正式加盟になる旨の報告があった。

・新潟リハビリテーション大学（2017年3月24日受理） 出席

### 議 事

#### I. 報告事項

##### 1. 2016年度 東地区部会報告

部会長校東海大学（三井）より、資料（pp.7-11）に基づき、2016年度東地区部会会務報告があった。

引き続き、研究部担当理事校成城大学（新井）より、資料（pp.12-14）に基づき、研究部活動について報告があった。

## 2. 2016年度 協会関係報告

部会長校東海大学（三井）より、資料（pp. 15-33）に基づき、協会会務報告、委員会報告（協会賞審査委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会、協会ホームページ委員会）及び協会関連事項報告（国公立大学図書館協力委員会、国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会、日本図書館協会、後援・共催）について報告があった。

## 3. 2017年度 協会役員校、委員会及び協会関連団体等委員

部会長校東海大学（三井）より、資料（pp. 34-36）に基づき、2017年度協会役員校、委員会及び協会関連団体等委員について報告があった。

以上の報告を受け質疑応答に移ったところ、質問はなかった。

## II. 協議事項

### 1. 2016年度 東地区部会事業報告

部会長校東海大学（三井）より、資料（p. 39）に基づき、2016年度東地区部会事業報告の説明があった。

### 2. 2016年度 東地区部会決算報告及び監査報告

部会長校東海大学（三井）より、資料（p. 40）に基づき、2016年度東地区部会決算報告の説明があった。

### 3. 2016年度 東地区部会研究部決算報告及び監査報告

研究部担当理事校成城大学（新井）より、資料（p. 41）に基づき、2016年度東地区部会研究部決算報告の説明があった。

協議事項1、2、3の説明を受けて、監事校明治大学（菊池）より、東地区部会決算及び東地区部会研究部決算報告について、関係帳簿及び証憑書類を精査した結果、両決算ともに適正であるとの監査報告があった。

協議事項1、2、3の説明を受け質疑応答に移った。

質問：東地区部会の全体の執行予算が約350万円程度であるが、繰越金が約870万円と、全体の執行予算の2倍以上繰越金がある。これは健全な予算執行とは思えないが、どういう経緯でこうなっているのか。

回答：繰越金が多いという話は以前の会議等でも承っており、部会あるいは研究部でも新規事業として地域研修、オンデマンド研修あるいは管理職研修等を実施することで、出来る限り予算の還元を図ることを企画しており、徐々にではあるが不均衡は是正していく予定である。

議長から拍手をもって承認に代えたいとの提議があり、協議事項 1、2、3 について拍手で承認された。

#### 4. 2017 年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

部会長校東海大学（三井）より、資料（pp. 42-43）に基づき、2017 年度東地区部会事業計画（案）及び予算（案）について説明があった。新規事業として、事務長会・管理職研修を実施する予定であるとの説明があった。

#### 5. 2017 年度東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

研究部担当理事校成城大学（新井）より、資料（pp. 44-45）に基づき、2017 年度東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）について説明があった。新規事業として、オンデマンド研修の図書コースを開講し、雑誌コースのコンテンツ作成を実施する予定であるとの説明があった。

以上の報告を受け質疑応答に移った。

質問：研究部の報告で、事務の省力化のため研究部報告書の過去の分が電子化されたとあったが、研究部報告書の Web サイトへの公開の予定はないのか。現状の研究分科会の活動は低迷、停滞し運営に苦慮されていると思う。広報活動も重要と思うが、研究分科会の活動や経緯などが研究分科会任せになって、冊子での研究報告書では一般の図書館員あるいは西地区、同業の図書館員に伝わらない状態である。ぜひ研究部報告書を図書館界に広める意味でも、著作権に問題のない報告書部分だけでも公開、アーカイブを検討して欲しい。

回答：直近の研究部報告書が若干協会 HP に掲載されていると思うが、昭和 56 年度から平成 22 年度までは電子化されている。協会 HP からの公開に向けてぜひ検討していきたい。

質問：事務長会・管理職研修を業務委託するということですが、どのような組織に委託するのか教えて欲しい。

回答：業務委託先は、NPO 法人大学図書館支援機構（IAAL）で、研修分科会の企画・運営もお願いしている組織である。

議長から拍手をもって承認に代えたいとの提議があり、協議事項 4、5 について拍手で承認された。

#### 6. 東地区部会研究部「研究部細則の改訂」（案）

研究部担当理事校成城大学（新井）より、資料（pp. 46-49）に基づき、東地区部会研究部「研究部細則の改訂」について説明があった。

以上の報告を受け質疑応答に移ったところ、質問はなかった。

議長から拍手をもって承認に代えたいとの提議があり、協議事項6について拍手で承認された。

Ⅲ. 承合事項  
提出なし

Ⅳ. 懇談事項  
提出なし

Ⅴ. その他  
特になし

以上をもって、全ての議事が終了し議長が閉会を宣言した。

以 上